

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-83728  
(P2000-83728A)

(43) 公開日 平成12年3月28日 (2000.3.28)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

デマコト (参考)

A 4 5 D 40/00

A 4 5 D 40/00

T  
W  
Z

審査請求 未請求 請求項の数19 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-237714

(22) 出願日 平成11年8月25日 (1999.8.25)

(31) 優先権主張番号 09/139421

(32) 優先日 平成10年8月25日 (1998.8.25)

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 597042674

レクサム・コスメティック・パッケージン  
グ・インコーポレイテッド

アメリカ合衆国、06790 コネチカット、  
トーリントン、インダストリアル・レイ  
ン 129

(72) 発明者 ロバート・エル・ピアポント

アメリカ合衆国、06450 コネチカット、  
メリデン、ミルドレッド・ロード 65

(74) 代理人 100060069

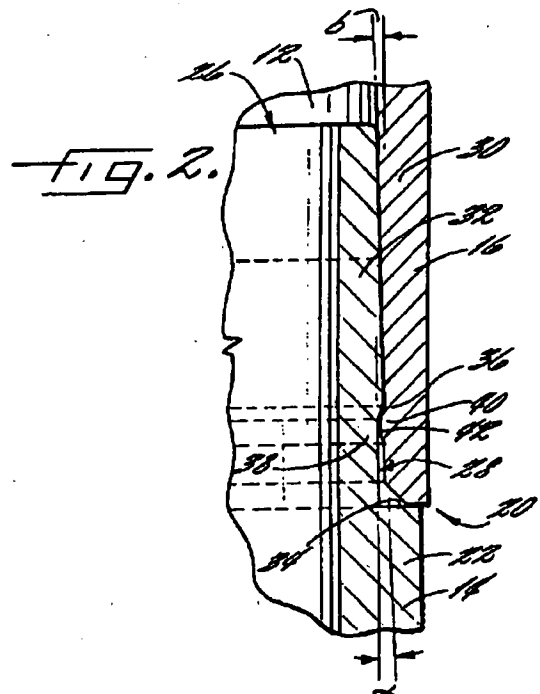
弁理士 奥山 尚男 (外3名)

(54) 【発明の名称】 保護シェルを有する化粧品容器

(57) 【要約】

【課題】 化粧品の水分レベルを維持でき、頂部シェルの偶発的脱落を回避することができ、かつ、頂部シェルが基部シェルに対して密閉状態で組合わされたことを確実に認識できるような化粧品容器用の保護シェルを提供する。

【解決手段】 化粧品容器用の保護シェル10は、筒状頂部シェル12及び筒状基部シェル14を備える。筒状頂部シェル12は係合部30を有し、筒状基部シェル14は係合部32を有する。頂部シェル12の係合部30は、外方傾斜された側壁部分16により画成され、基部シェル14の係合部32は、内方傾斜された側壁部分22により画成される。頂部シェル12は基部シェル14上に載置され、係合部30、32間で密閉部が形成される。頂部シェル係合部30は周縁リブ40により画成され、基部シェル係合部32は頂部シェル12の周縁リブ40を受容する周縁溝42を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 保護シェルを有する化粧品容器において、開放下端を画成する頂部シェル環状側壁であって、かつ、上記開放下端の近傍にて外径方向に傾斜すると共にその一部に頂部シェル係合部を備えた上記頂部シェル環状側壁、を有する筒状頂部シェルと、開放上端を画成する基部シェル環状側壁であって、かつ、内径方向に傾斜されて上記頂部シェル環状側壁と係合すると共に上記筒状頂部シェルを実質的に密閉して上記筒状頂部シェルと摩擦的に係合する基部シェル係合部を備えた基部シェル環状側壁、を有する筒状基部シェルと、上記筒状基部シェル内に配置せしめられた化粧品受容器であって、その中に受容された化粧品は塗付及び格納のために引き出し・引き込まれ得るように構成された化粧品受容器と、をそれぞれ具備し、上記基部シェル係合部は、上記頂部シェル係合部と協働して上記筒状頂部シェル及び筒状基部シェルを互いに取り外し可能に固定して、上記保護シェルをさらに密閉するように構成したことを特徴とする化粧品容器。

【請求項2】 上記頂部シェル係合部は上記頂部シェル環状側壁の厚みが減少する部分により画成し、上記頂部シェル環状側壁の内面は外径方向に傾斜していることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項3】 上記基部シェル係合部は上記基部シェル環状側壁の厚みが減少する部分により画成し、上記基部シェル環状側壁の外面は内径方向に傾斜していることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項4】 上記頂部シェル係合部は内径方向に延伸する周縁リップであり、かつ、上記基部シェル係合部は上記頂部シェル係合部を受容する溝をさらに画成していることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項5】 上記基部シェル係合部は上記筒状基部シェルの残りの部分の外径よりも小さな最大外径を有することを特徴とする請求項4に記載の化粧品容器。

【請求項6】 上記周縁リップは上記頂部シェル係合部の回りで周縁方向に延在していることを特徴とする請求項4に記載の化粧品容器。

【請求項7】 上記周縁リップは環状玉縁であることを特徴とする請求項6に記載の化粧品容器。

【請求項8】 上記周縁溝は上記基部シェル係合部の回りで周縁方向に延在していることを特徴とする請求項4に記載の化粧品容器。

【請求項9】 上記頂部シェル環状側壁及び基部シェル環状側壁は約1°～3°傾斜されていることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項10】 上記頂部シェル環状側壁及び基部シェル環状側壁は約1°～2°傾斜されていることを特徴とする請求項9に記載の化粧品容器。

【請求項11】 上記筒状基部シェルは上記筒状頂部シェルの軸心方向の下方移動を制限する肩部を画成していることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項12】 上記頂部シェル係合部は上記開放下端の近傍の複数の垂下突起を有し、上記複数の垂下突起は上記筒状頂部シェルの長手方向の軸心に沿って軸心方向に延在し、上記基部シェル係合部は、上記基部シェル係合部の下端の近傍にて上記筒状基部シェルの長手方向の軸心に沿って軸心方向に延在する複数の直立突起を有し、上記複数の垂下突起は上記複数の直立突起と協働して上記保護シェルを密閉するように構成したことを、を特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項13】 上記筒状基部シェルの上記複数の直立突起は上記筒状頂部シェルの軸心方向の下方移動を制限する肩部を画成していることを特徴とする請求項12に記載の化粧品容器。

【請求項14】 上記複数の垂下突起は上記筒状頂部シェルの上記開放下端の周縁回りに延在し、かつ、上記複数の直立突起は上記筒状基部シェルの上記開放上端の周縁回りに延在することを特徴とする請求項12に記載の化粧品容器。

【請求項15】 上記複数の直立突起及び垂下突起は、上記筒状頂部シェル及び筒状基部シェルの回りにおける一連の先鋭突起を画成すべく先鋭であることを特徴とする請求項12に記載の化粧品容器。

【請求項16】 上記先鋭突起の各々は実質的にV字形状であることを特徴とする請求項15に記載の化粧品容器。

【請求項17】 上記複数の先鋭突起は隣接の先鋭突起との間に約90°の角度をなすことを特徴とする請求項16に記載の化粧品容器。

【請求項18】 上記複数の垂下突起の外径方向で上記筒状頂部シェルの周縁回りに延在する外被をさらに備えていることを特徴とする請求項12に記載の化粧品容器。

【請求項19】 上記筒状頂部シェルの上記複数の垂下突起は上記筒状頂部シェルの外径よりも大きな外径を有することを特徴とする請求項12に記載の化粧品容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧品（口紅等）の水分レベルを内部に維持するために頂部シェル及び基部シェルを備える密閉式の保護シェルを有する化粧品容器に関する。

【0002】

【従来の技術】口紅等の化粧品は、その組成を揮発性とする水分豊富な成分を含むことが多い。そのため、口紅容器等の如き化粧品容器に対しては、口紅の水分レベルを維持すると共に外部の湿気が口紅に接触するのを防止

する密閉式容器を用意して口紅を適切に保護することが望ましい。そのようにすれば、口紅製品の性能が改善されると共にその貯蔵寿命も長くなる。

#### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】口紅等の化粧品を完全に保護するためには、頂部シェルを基部シェルに固定すると共に、この頂部シェルの偶発的脱落を防止せねばならない。もし頂部シェルが容易に取り外され得るような構造であれば、頂部シェルが偶発的に基部シェルから脱落して口紅の損傷に帰結するおそれがある。さらに、口紅が他の物体に触れてそれを汚したり、揮発成分が抜けたりする不具合がある。特に、頂部シェルが基部シェルに対して密閉されていないと、頂部シェルが知らない間に基部シェルから外れたような場合等には長い間に亘って水分が抜け続けることとなる。そして、これに伴って口紅が乾燥し、その性能の低下及び消費者の満足度の低下を来すこととなる。従って、多くの場合、頂部シェルが基部シェルに対して密閉状態で固定されたことを触感的に認知することができて、ユーザが保護シェルを確実に密閉し得るようにすることが望ましい。

【0004】本発明は、このような実状を踏まえてなされたものであって、その目的は、頂部シェルを基部シェルに対して密閉状態で固定されたことを触感的に認知することができてユーザが保護シェルを確実に密閉することができ、ひいては化粧品の水分レベルを維持することができるようにした化粧品用保護シェルを提供することにある。

【0005】また、上記頂部シェルの偶発的脱落を回避すべく基部シェルに固定された頂部シェルを有する保護シェルを提供することも本発明の目的である。

【0006】さらに、頂部シェルが基部シェルに対して密閉状態で組合わされたこと（密閉係合されたこと）を明確に認知死得るような保護シェルを提供することも本発明の目的である。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】これらの目的及び他の目的は、化粧品の保護のために密閉された外側シェルを有する本発明の化粧品容器により達成される。上記保護シェルは、化粧品受容器を圍繞する筒状頂部シェル及び筒状基部シェルを有している。上記化粧品受容器は概略的に、一対の長手状スロットを有する内側スリーブ、内面に沿った一対の螺旋状溝を有する外側スリーブ、及び／又は、化粧品を受容するカップを画成する化粧品担体（化粧品受容器）、により画成される。上記化粧品担体は、上記内側スリーブの上記長手状スロットを貫通して延在すると共に、上記外側スリーブの螺旋状溝内に受容される一対の外径方向延伸突起を有する。かくして、内側スリーブの回転等による内側スリーブと外側スリーブとの間の相対回転運動により、化粧品担体は螺旋状溝に沿って縦走され、上記化粧品の塗付及び格納のために引

き出し・引っ込み移動を行うことになる。上記内側スリーブは、適切な接着剤等により筒状基部シェルに取付けられ、筒状基部シェルの回転が内側スリーブと外側スリーブとの間の相対回転運動を提供して化粧品を引き出し又は引き込むようにしても良い。

【0008】上記頂部シェル及び基部シェルの係合部及び係合部の形状により、上記保護シェルは少なくとも一部において密閉状態となされ、上記頂部シェルは基部シェルと確実に係合される。上記頂部シェルは、筒状側壁、上側壁及び開放下端により画成される。上記基部シェルは、底壁、筒状側壁及び開放上端により画成される。上記頂部シェル及び基部シェルは、各々、好適には傾斜部分により画成された係合部を備えている。上記頂部シェル係合部は、上記開放下端に向けて外径方向に傾斜する傾斜部分により画成される。上記基部シェル係合部は、上記頂部シェルと係合されたときに上記頂部シェルと接触する小径部により画成される。上記小径部は、上記基部シェルの上記開放上端に向けて内径方向に傾斜し、かつ、上記基部シェル係合部を画成する。これにより、上記各係合部は、上記頂部シェルを上記基部シェルに固定し、かつ、水分が上記保護シェルから揮発して抜けないように密閉を行う。これに加え、上記化粧品の水分レベルに悪影響を与える外部湿気は、上記保護シェル内に侵入しない状態となされる。

【0009】上記頂部シェル及び基部シェルは、各々、上記頂部シェルを上記基部シェルに対してさらに固定して上記頂部シェルの偶発的脱落及び／又は湿気の出入りを防止する係合部も有している。本発明の第1実施形態に係る頂部シェルの係合部は、上記頂部シェルの開放下端の近傍に位置された環状玉縁の形態で内径方向かつ周縁方向に延在する周縁リブを含んでいる。上記基部シェルの係合部は、この基部シェルの小径部及び大径部の共通部分の近傍に位置せしめられた周縁溝を有している。この実施形態によれば、上記頂部シェルの玉縁は上記基部シェルの周縁溝と係合し、上記容器をさらに密閉すると共に上記容器が密閉されたことの触感的認知がなされる。

【0010】本発明の第2実施形態によれば、上記基部シェルの係合部は、相互に近接して延在することにより上記突起の周縁部を形成する直立先鋭突起を有している。上記頂部シェルの係合部は、上記基部シェルの係合部に係合すべくこの頂部シェルの開放下端の近傍の垂下先鋭突起の部を有している。係合されたときの配置構成は、上記保護シェルに対する付加的な密閉と、上記各々が密閉されたことの触感的表示とを提供する。上記各係合部の傾斜形状は、また、上記頂部シェルの容易な取り外しを促進する。それは、上記頂部シェルを僅かに回転すれば上記頂部シェルが上昇され、上記保護シェルの密閉が解除されるからである。

#### 【0011】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好適な実施形態が示された添付図面を参照して本発明をさらに詳述する。但し、本発明は本明細書中に示された実施形態に限定されず、寧ろこれらの実施形態は、本開示内容を十分かつ完全にすると共に当業者に対して発明の範囲を完全に伝えるべく提供されるものである。

【0012】本明細書において、本発明は、口紅等の化粧品を塗付するための容器として示されかつ記述されている。その説明を簡潔なものとすべく、以下の記述は口紅容器に言及している。しかしながら、上記容器は、製品がケースから引き出され或いはその中に引き込まれる型式の他の種々の分野のものにおいても利用され得ることは明らかである。例えば、上記容器は、局所塗付を要する任意の製品に対して利用され得る。

【0013】本発明に係る口紅容器用保護シェルは、参照番号10で示されている。保護シェル10は筒状頂部シェル12及び筒状基部シェル14を備えている。筒状頂部シェル12は、頂部シェル環状側壁16、頂部シェル上壁18及び開放下端20を有している。筒状基部シェル14は、基部シェル環状側壁22、基部シェル下壁24及び基部シェル開放上端26を有している。基部シェル14は、また、開放上端26の近傍に設けられ小径部28、及び、この小径部28の下方の大径部29も有している。

【0014】各実施形態によれば、上記基部シェル14は、ポリエチレン又はポリプロピレン等の気体透過率の低い弾性材料にて形成されている。頂部シェル12もまた、気体透過率の低い材料にて形成されているが、必ずしも基部シェル14と同じ材料でなくてもよい。

【0015】筒状頂部シェル12は、その開放下端20の近傍箇所に頂部シェル係合部30を備えている。図2及び図5に示されるように、上述の頂部シェル係合部30は、開放下端20に向けて外径方向に傾斜する傾斜部分により画成されている。好ましくは、上記傾斜は頂部シェル環状側壁16の厚みが減少されるように形成され、上記側壁16の厚みは開放下端20に向けて減少されている。図示の如く、頂部シェル側壁16の内面は開放端20に向けて外径方向に傾斜している。この傾斜面の角度 $b$ （図2参照）は、頂部シェル側壁16の角度配向を示している。この角度 $b$ は、好ましくは、約 $1^{\circ}$ ～ $3^{\circ}$ 、例えば $1^{\circ}$ ～ $2^{\circ}$ である。しかしながら、側壁16の内面及び外面の両者が垂直軸心（縦方向軸心）に関して所定角度で延伸し、傾斜した頂部シェル係合部30を構成することは本発明の技術的思想の範囲内の技術である。

【0016】上述の頂部シェル係合部30に係合するために、基部シェル14には基部シェル係合部32が設けられている。図3及び図6に最も良く示されるように、基部シェル14の小径部28は、同様に、傾斜部分により画成された上記係合部分32を有している。基部シ

ル係合部32を形成する傾斜部分は、小径部28の領域において基部シェル14の開放上端26の近傍に設けられている。上記傾斜部分は、開放上端26の方向に厚みが減少する基部シェル14の側壁22により画成される。従って、基部シェル係合部32の外面は内径方向に傾斜している。その角度配向 $\alpha$ は、長手方向の軸心1に対する側壁22の角度配向を表している。上記角度 $\alpha$ は、好適には約 $1^{\circ}$ ～ $3^{\circ}$ であり、例えば約 $1^{\circ}$ ～ $2^{\circ}$ である。図示の如く、基部シェル係合部を画成する側壁22の内面は実質的に垂直であり、かつ、この側壁22の外面は先細り状に内方に向けて上記傾斜を画成している。勿論、側壁22の内面及び外面の両者が長手方向の軸心1に関して所定角度で延在することは本発明の技術的思想の範囲内の技術である。

【0017】これにより、図2に最も良く示される如く、基部シェル14は頂部シェル12を受容し、頂部シェル係合部30及び基部シェル係合部32は相互に係合して保護シェル10の構成要素を摩擦力にて固定するようになっている。好適には、頂部シェル12及び基部シェル14は所定の固有可撓性を有する材料により形成される。これにより、保護シェル10はその内部に収納された化粧品の適切な水分レベルを維持すべく密閉される。

【0018】図1～図3に示された本発明の第1実施形態に係る保護シェル10は、さらに、頂部シェル係合部36及び基部シェル係合部38を含んでいる。図示の如く、頂部シェル係合部36は、頂部シェル側壁16の内面から内径方向に延伸する周縁リブ40の形態で設けられている。好適には、上記リブ40は、図2に図示されるように、半円形断面を有する環状玉縁である。上記基部シェル係合部38は、近傍の頂部シェル12の上記周縁リブ40を受容すべき形状とされた周縁溝42を含んでいる。好適には、この周縁溝42は、基部シェル14の大径部29の近傍において、基部シェル14の小径部28の下端の近傍に配置せしめられている。

【0019】上記小径部28は、筒状基部シェル14の大径部29よりも小さな外径を有している。これにより、頂部シェル12が当接する肩部（ショルダ）34が画成される。この肩部34は、筒状頂部シェル12が基部シェル14上に配置されたときの筒状頂部シェル12の軸心方向に沿う下方移動を防止する。

【0020】上記リブ40は、頂部シェル12が基部シェル14と係合されたときに上記周縁溝42内に受容される。上記頂部シェル係合部36と基部シェル係合部38とが組合わされるのに伴い、頂部シェル12が基部シェル14上に固定されたことを示す触感的判断がユーザに提供される。上記リブ40が周縁溝42と係合するときには、認識可能なクリック音が発生され得る。上記組合せは、また、頂部シェル12を基部シェル14に対して固定及び／又は密閉するものでもある。上記頂部シェ

ル１２は、この頂部シェルを上記軸心１の方向に引張ることにより上記密閉を解除して上記周縁溝４２からリップ４０を係合解除することにより取り外され得る。

【００２１】図４～図６には、本発明の第２実施形態が示されている。この実施形態は、頂部シェル１２及び基部シェル１４の係合部の形状に関して、上記第１実施形態と相違する。この実施形態によれば、筒状頂部シェル１２の開放下端２０を画成する複数の垂下突起５０により頂部シェル係合部４６が構成される。この複数の垂下突起５０は、頂部シェル１２の長手方向の軸心１に沿って軸心方向に延在する。図示の実施形態によれば、垂下突起５０はＶ字形状である。但し、それらは、正弦波形状の下縁を画成する弧状等の別形状ともされ得る（図示省略）。上記頂部シェル係合部４６は、傾斜側壁１６を有する上記頂部シェル係合部３０の内側に位置せしめられる。従って、上記係合部３６を形成する突起５０は傾斜され、すなわち、上述の如く開放下端２０に向けて厚みが減少している。

【００２２】基部シェル係合部４８は、頂部シェル１２の垂下突起５０に係合すべき形状とされた複数の直立突起５２により画成される。同様に、この直立突起５２は、頂部シェル１２の長手方向の軸心１に沿って延在する。図示の実施形態によれば、基部シェル係合部４８の直立突起５２は、小径部２８の周縁回りに延在する倒立Ｖ形状突起により画成される。上記基部シェル係合部４８は、頂部シェル係合部４６と係合する弧状等の異なる形状（図示せず）とされ得る。基部シェル係合部４８は、基部シェル係合部３２を形成する小径部２８の回りに延在する帯状部を画成する。これにより、頂部シェル１２は、この頂部シェル１２の軸心方向への下方移動を制限する肩部（ショルダ）を形成する基部シェル係合部４８に当接する。頂部シェル１２及び基部シェル１４の両者の先鋭突起は、隣接突起との間で約９０°の角度を実質的に画成する。

【００２３】従って、上記頂部シェル係合部４６及び上記基部シェル係合部４８は、基部シェル１４に対して頂部シェル１２をさらに固定する。この特徴は、また、保護シェル１０が密閉的に閉じられたことの触感的表示機能をも提供する。さらに、図６にて矢印５６により示された一方向への回転運動は、保護シェル１０の密閉性を解除する。これにより、係合部４６、４８の形状は、頂部シェル１２の回転時の容易な取り外しを可能とする。また、係合部４６、４８の傾斜形状は、頂部シェル１２と基部シェル１４との間の密閉が解除されたときに頂部シェル１２の取り外しを促進する。勿論、上記頂部シェル１２は、図６において矢印５８により示された容器の長手軸心に沿った方向の移動によって取り外され得る。

【００２４】図７は、本発明の第３実施形態を示している。この実施形態は、上記第２実施形態のものと類似した周縁帯状部を形成する複数の垂下突起５０'により画

成される頂部シェル係合部４６'を有している。但し、この実施形態は、係合部４６'の周縁帯状部が頂部シェル環状側壁部よりも大きな厚みを有するという点で相違している。よって、頂部シェル係合部４６'の外面は頂部シェル環状側壁部を越えて外径方向に延在する。対応する基部シェル１４は、上記第２実施形態のものと同様である。従って、頂部シェル係合部４６'により画成された外方突出表面は、保護シェル１０に対する装飾的要素を提供する。

【００２５】図８には、本発明の第４実施形態が示されている。この実施形態は上記第２実施形態と類似しているが、（図８に仮想線で示された）頂部シェル係合部４６の周縁回りに延在する周縁外被６０が配備されている。これにより周縁外被６０は、係合された頂部シェル係合部４６と基部シェル係合部４８との間の縫ぎ目を圍繞する。従って、周縁外被６０は、頂部シェル環状側壁２５から外径方向に延在して基部シェル１４の肩部３４に当接する。

【００２６】図９等の種々の図中に示された化粧品受容器６２は、一対の長手状スロット６６を有する内側スリーブ６４、内面に沿って一対の螺旋状溝７０を有する外側スリーブ６８、及び／又は、化粧品を受容するカップを画成する化粧品担体（化粧品受容器）７２により形成される。上記化粧品担体７２は、内側スリーブ６４の長手状スロット６６を貫通して延伸すると共に、外側スリーブ６８の対応螺旋状溝７０内に受容される一対の外径方向延伸突起７４を備えている。従って、内側スリーブ６４の回転等による内側スリーブ６４と外側スリーブ６８との間の相対回転運動により、化粧品担体７２は螺旋状溝７０に沿って縦走され、上記化粧品の塗付及び格納のために引き出し・引き込み移動を行うことになる。上記内側スリーブ６４は適切な接着剤等により筒状基部シェル１４に取付けられ、筒状基部シェル１４の回転が内側スリーブ６４と外側スリーブ６８との間の相対回転運動を提供して化粧品を引き出し或いは引き込むようにしても良い。

【００２７】以上、本発明の特定の実施形態につき述べたが、本発明はそれらに限定されないのは勿論である。それは、特に上記教示に鑑みて当業者により改変がなされ得るからである。従って、本発明は、本願の請求項に記載の本発明の真の精神及び範囲内において、これらの改良の特徴を取り入れた全ての変形及び変更を包含している。

【００２８】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、次のような作用効果を奏することができる。すなわち、頂部シェルの周縁リップは、頂部シェルが基部シェルと係合されたときに基部シェルの周縁溝内に確実に受容されて頂部シェル及び基部シェル間を密閉状態にし得ると共に、聴覚的に認識可能なクリック音を発生する。従っ

て、化粧品の水分レベルを維持することができ、頂部シェルの偶発的脱落を回避することができ、かつ、頂部シェルの基部シェルに対して密閉状態で組合せられたことを確実に認知することができる。

【0029】従って、本発明によれば、頂部シェルの基部シェルに対して密閉状態で固定されたことを触感的に認知することができてユーザが保護シェルを確実に密閉することができ、ひいては化粧品の水分レベルを維持することができるような、保護シェルを有する化粧品容器を提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態に係る化粧品容器の斜視図である。

【図2】図1の2-2線に沿った拡大断面図である。

【図3】上記化粧品容器の頂部シェル及び基部シェルの拡大分解図である。

【図4】本発明の第2実施形態に係る化粧品容器の斜視図である。

【図5】図4の化粧品容器の頂部シェル及び基部シェルの部分的拡大断面図である。

【図6】図4の化粧品容器の頂部シェル及び基部シェルの一部の拡大分解図である。

【図7】本発明の第3実施形態に係る頂部シェルの拡大図である。

【図8】本発明の第4実施形態に係る頂部シェルの拡大図である。

【図9】本発明の化粧品受容器の部分的断面図である。

#### 【符号の説明】

10 保護シェル

12 筒状頂部シェル

14 筒状基部シェル

16 頂部シェル環状側壁

18 頂部シェル上壁

20 開放下端

22 基部シェル環状側壁

24 基部シェル下壁

25 頂部シェル環状側壁

26 開放上端

28 小径部

29 大径部

30 頂部シェル係合部

32 基部シェル係合部

34 肩部（ショルダ）

36 頂部シェル係合部

38 基部シェル係合部

40 周縁リブ

42 周縁溝

46 頂部シェル係合部

46' 頂部シェル係合部

48 基部シェル係合部

50 垂下突起

50' 垂下突起

52 直立突起

56, 58 矢印

60 周縁外被

62 化粧品受容器

64 内側スリーブ

66 長手状スロット

68 外側スリーブ

70 螺旋状溝

72 化粧品担体（化粧品受容器）

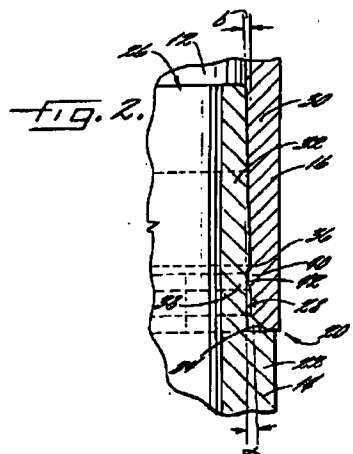
74 突起

α 角度配向

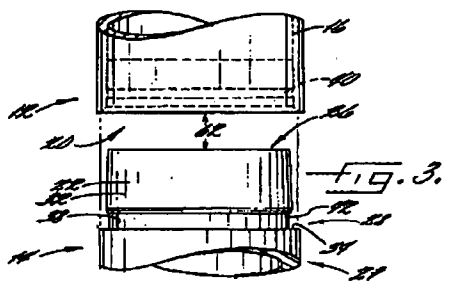
b 角度配向

l 長手方向の軸心

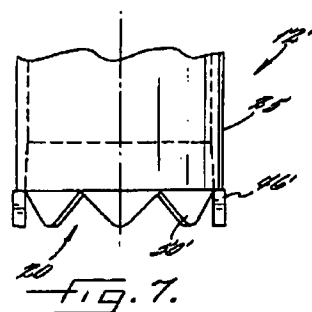
【図2】



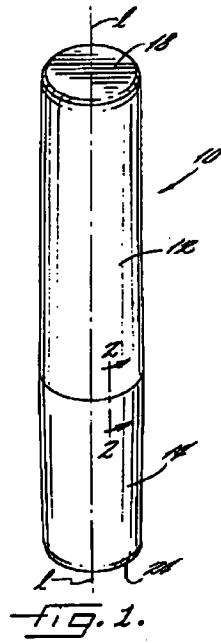
【図3】



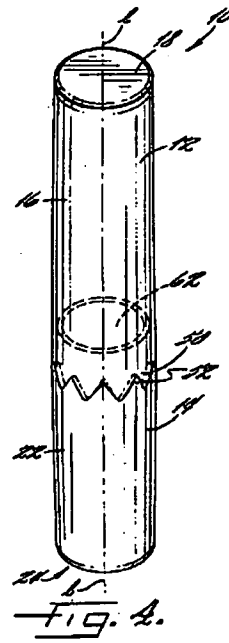
【図7】



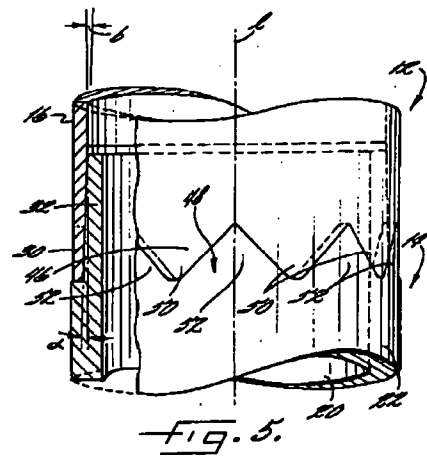
【图1】



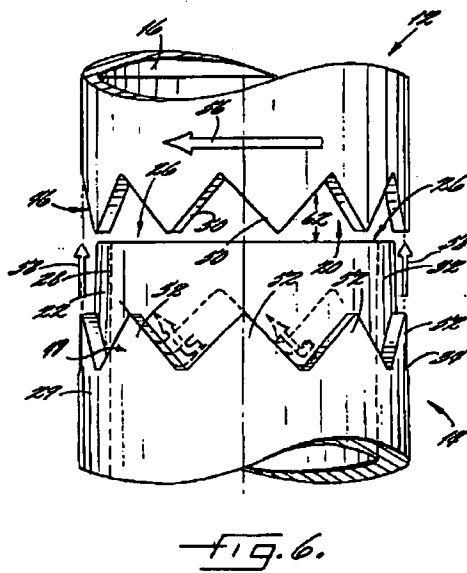
【图4】



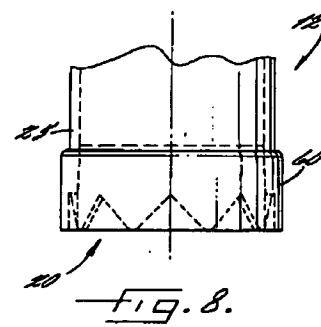
【图5】



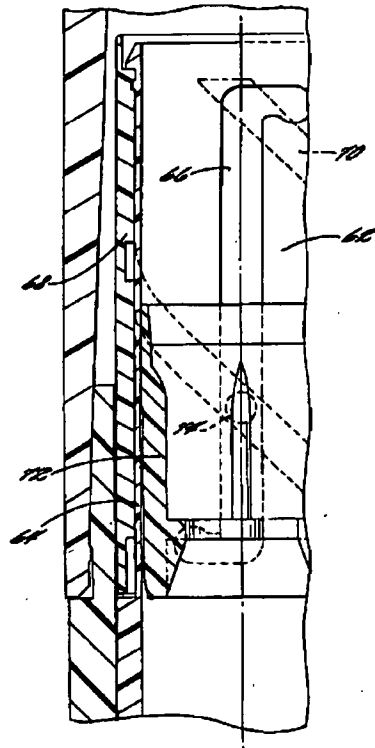
【图6】



【图8】



【图9】



—FIG. 9.